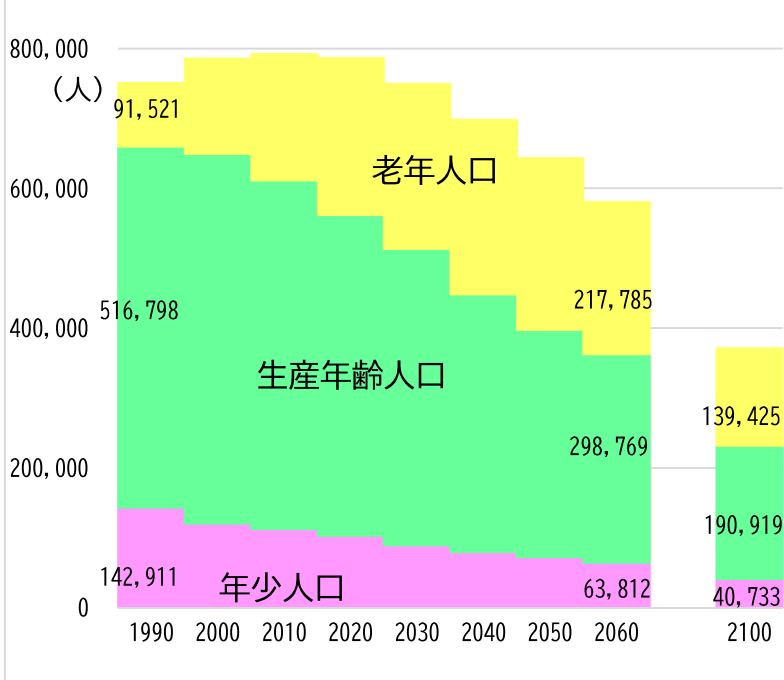


本市の状況 人口について

資料2-2

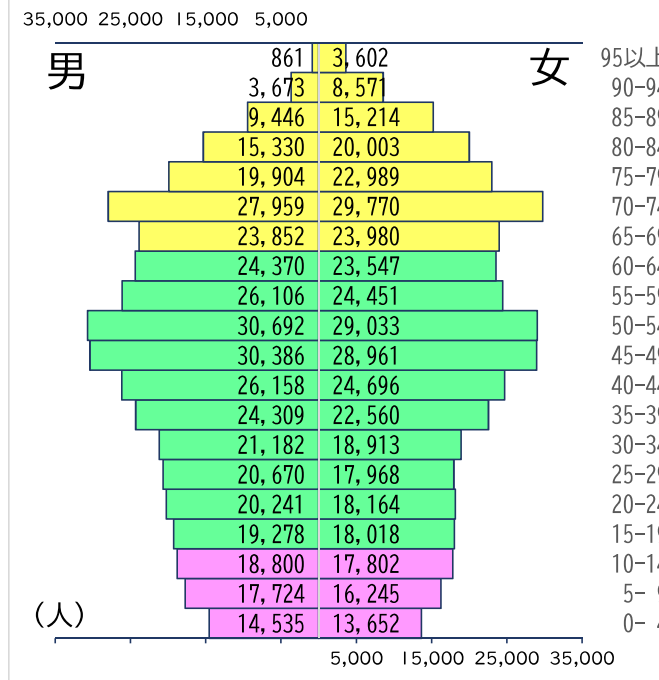
人口推計



【浜松市“やらまいか”人口ビジョン 令和2年度改訂】

今後、年少人口、生産年齢人口が減少する一方、老年人口は2045年まで増加し、人口減少と高齢化が同時に進行していく。その後は老年人口も減少し、2060年の浜松市人口は60万人台を下回る。

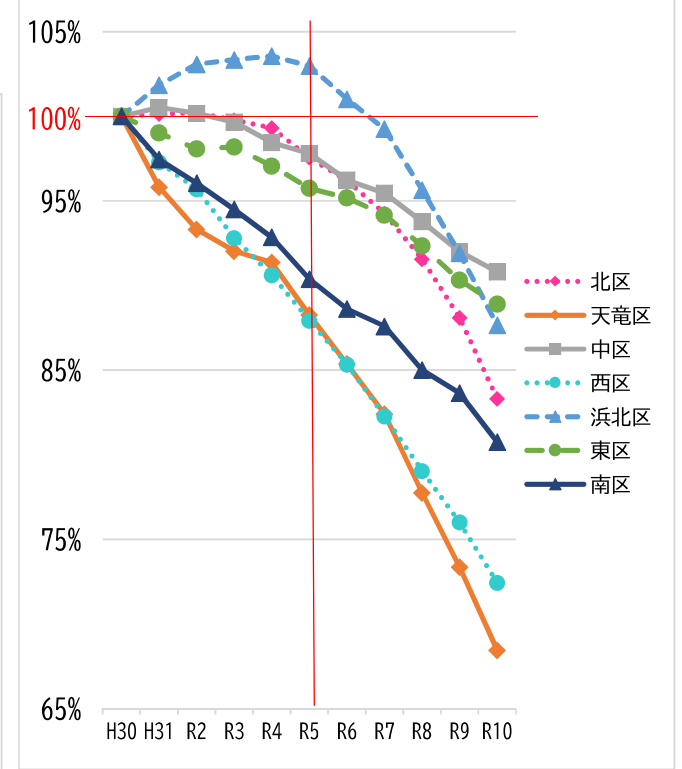
年齢別人口構成



【R4.10.1現在 浜松市年齢別人口表より作成】

人口ピラミッドの形態は、全国のそれとほぼ等しい形にある。年少人口は、98,758人で全体に占める割合は12.4%である。(全国11.6%)

区別の学齢児童生徒数推移

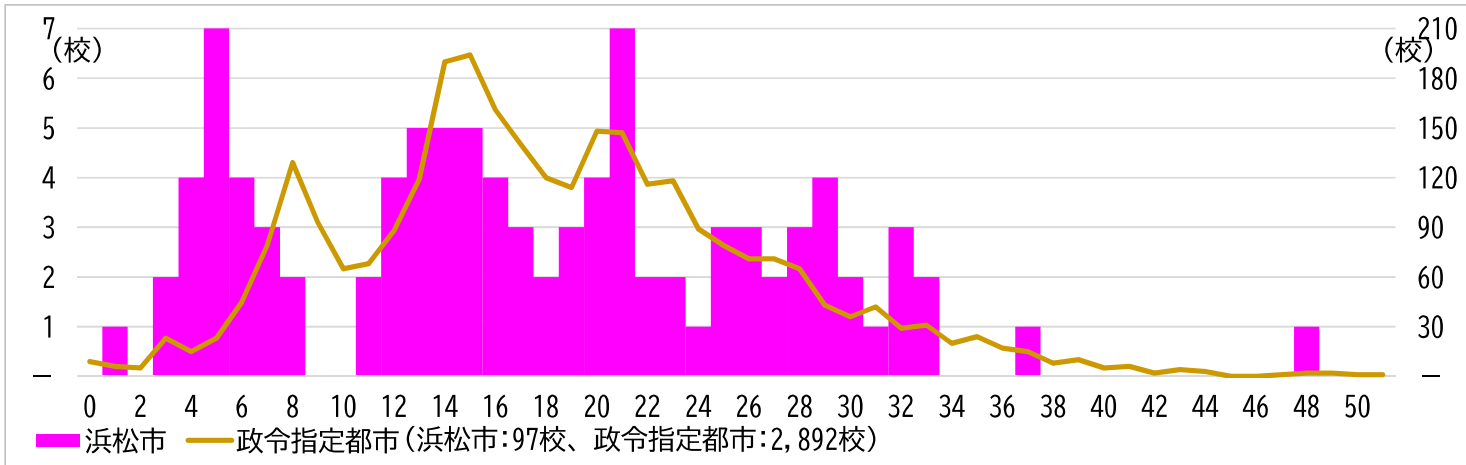


※H30の区別の児童生徒数を100とした場合の割合 【教育支援課】

天竜区と西区、南区では令和5年度現在、すでに低下が著しいが、今後天竜区と西区においては児童数低下に拍車がかかる。他区では、令和5年度の段階では浜北区を除き若干の低下が見られる。今後はどの地区でも約10ポイント以上低下する。

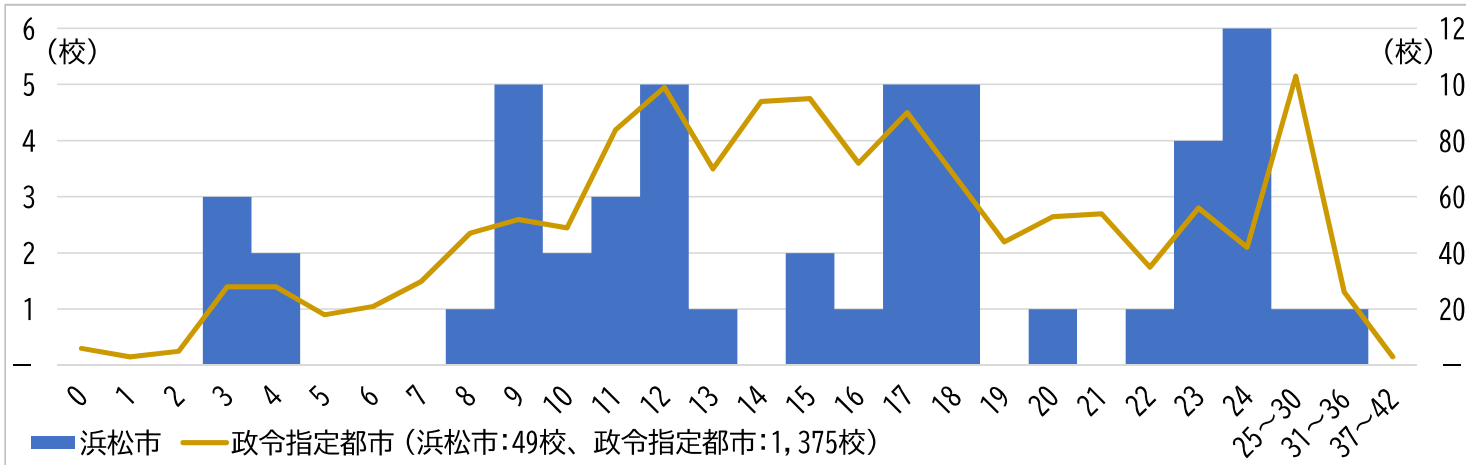
本市の状況 学校規模について

小学校における学級数別学校数



【令和4年度学校基本調査】

中学校における学級数別学校数

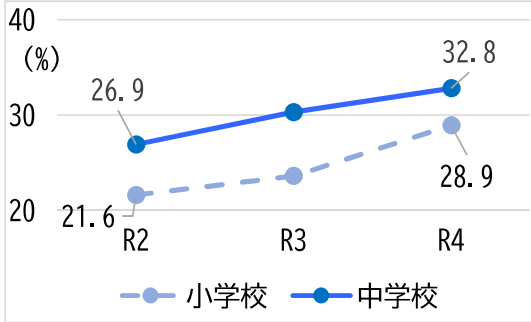


【令和4年度学校基本調査】

小学校における学級数別学校数は双峰性を示した。
政令指定都市の状況と比較した場合、7学級以下や28学級以上の分布が厚い。
中学校における学級数別学校数は、大きく4つ（3, 4学級、9～13学級、15～17学級、23, 23学級）の分布に分かれ、ばらつきが大きい。
※特別支援学級を含んだ実数で計上

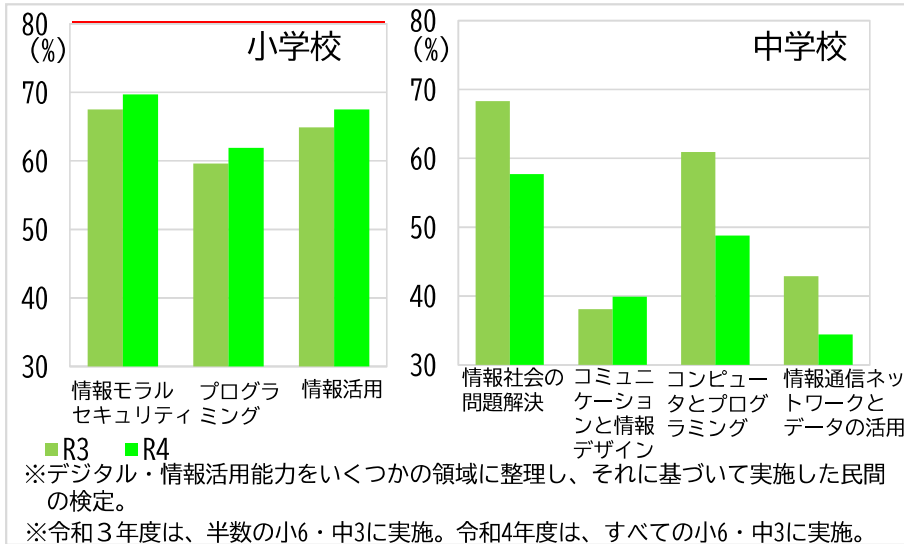
本市の状況 学齢児童生徒について

平日に授業の時間以外で、全く読書をしないと回答した児童生徒の割合



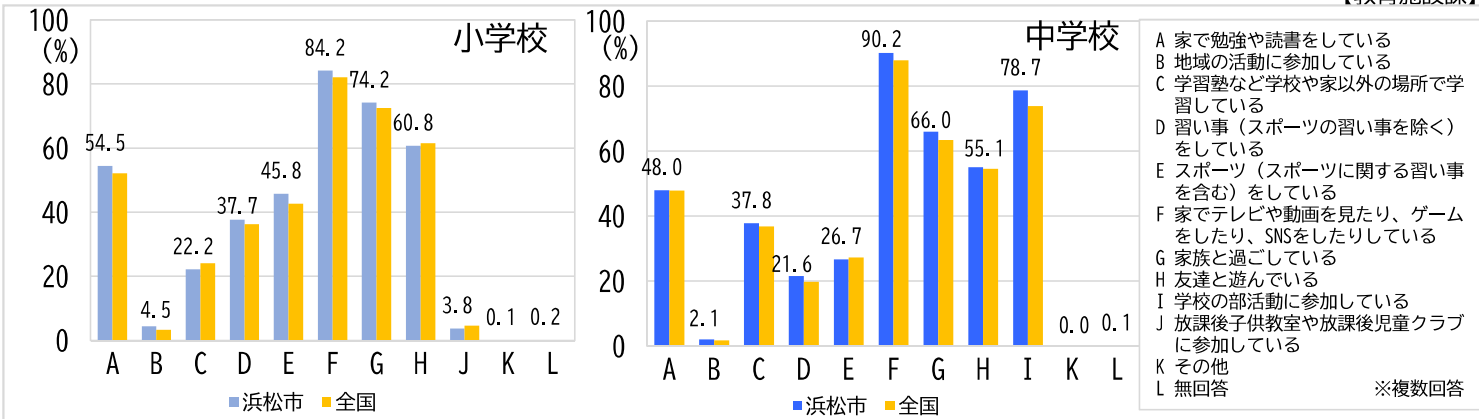
平日の不読率は年々上昇している。中学校では、約1/3の生徒が平日に全く読書をしないと回答している。

デジタル・情報活用検定における平均正答率



小学校は、設定された目安（80%）は下回っているものの、平均正答率は上昇している。中学校の全体正答率の目安は70%であるが、令和4年度は、45.7%（全国45.4%）。

週末の過ごし方

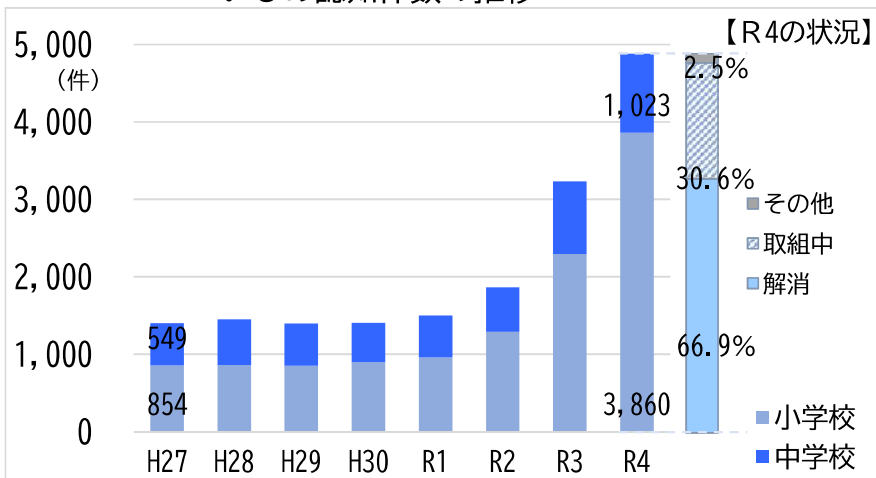


全国の回答と比較すると、多くの項目で値が上回っている。それぞれの児童生徒が多様な過ごし方をしていることがわかる。児童と生徒の週末の過ごし方を比較すると、生徒は「学習塾で学習する」と回答した割合が上昇する。一方で、「家で勉強や読書をしている」「友達と過ごす」と回答した割合は低下している。中学校では、部活動に参加する割合が2番目に高い。

【令和4年度全国学力・学習状況調査 児童生徒質問紙】

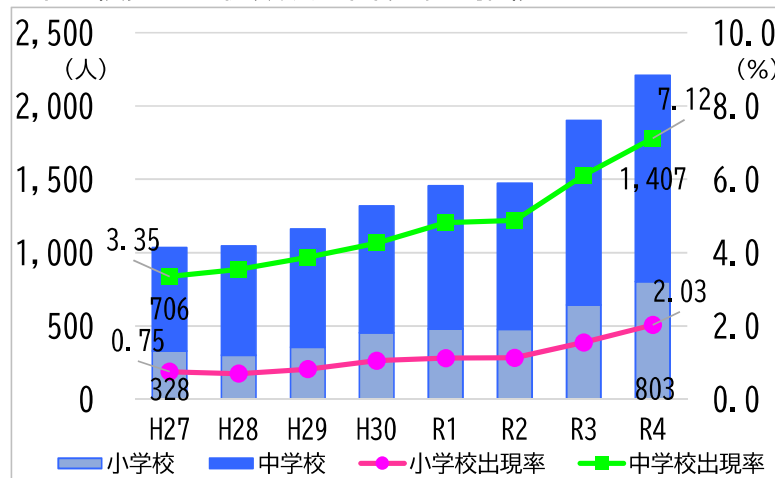
本市の状況 学齢児童生徒について

いじめ認知件数の推移



令和4年度のいじめ認知件数は、前年度比150.7%に増加。いじめの態様については、小中学校ともに「冷やかしかからかい」が最多。

不登校児童生徒数及び出現率の推移



令和4年度の不登校児童生徒の総数は2,210人。令和4年度は前年度比、小学校は124.9%、中学校は111.7%に増加。全児童生徒数に占める不登校児童生徒の割合は増加傾向。(令和3年度全国出現率 小:1.1% 中:5.0%)

【文部科学省：児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査】

外国人の子供数の推移と就学状況

	義務教育諸学校	外国人学校	不就学	転居・出国(予定含む)	就学状況把握できず	合計
R4	1,846	173	18	104	0	2,141
R3	1,864	172	12	127	0	2,175
R1	1,796	243	2	29	5	2,075

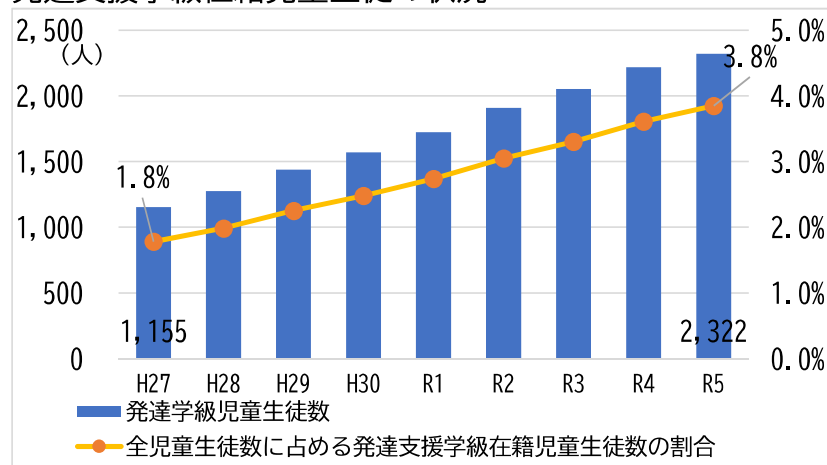
※令和2年度に本調査は行われていない。

【文部科学省：外国人の子供の就学状況等調査】

令和に入ってから総数は約2,100人、一条校に通う子供の数は約1,800人と大きな変化はない。

※5月1日現在の調査であり、不就学の子供のうち、令和4年度末には14人、令和3年度末には11人が就学もしくは転居・出国を確認。

発達支援学級在籍児童生徒の状況

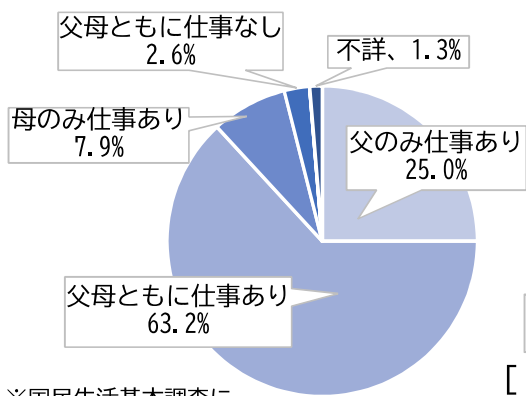


令和5年度までの9年間で、発達支援学級在籍児童生徒数は約2倍に増加。令和2年度に、初めて全児童生徒に占める発達支援学級在籍児童生徒数の割合が、3%を超えた。(令和4年度政令指定都市3.3%)

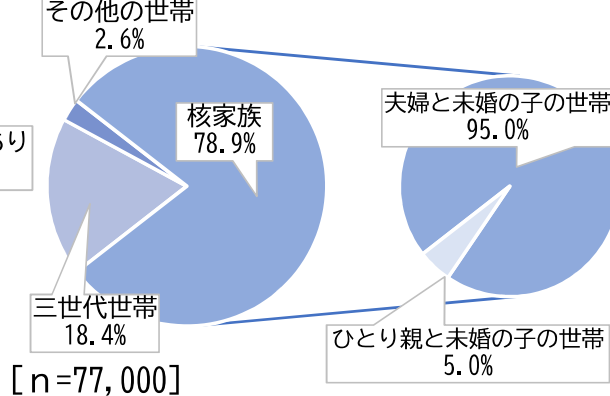
【教育支援課】

本市の状況 学齢児童生徒について

児童のいる世帯における
父母の就業状況



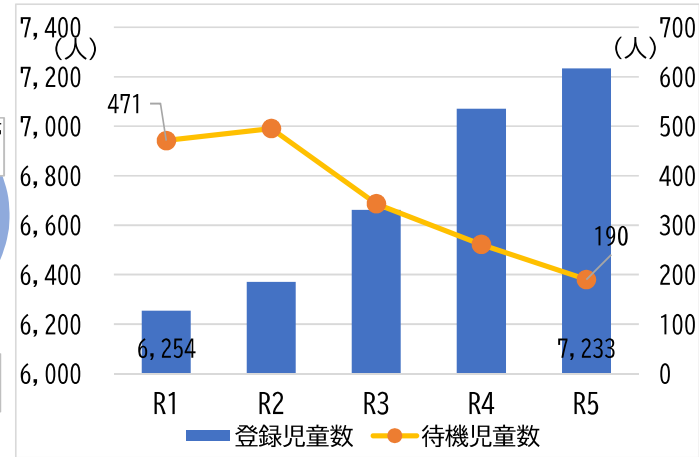
児童のいる世帯の構造
及び核家族の内訳



※国民生活基本調査に
おける「児童」は18歳未満の未婚の者を指す。
※概数で示されているため、数を調整。

【厚生労働省：令和元年度国民生活基本調査】

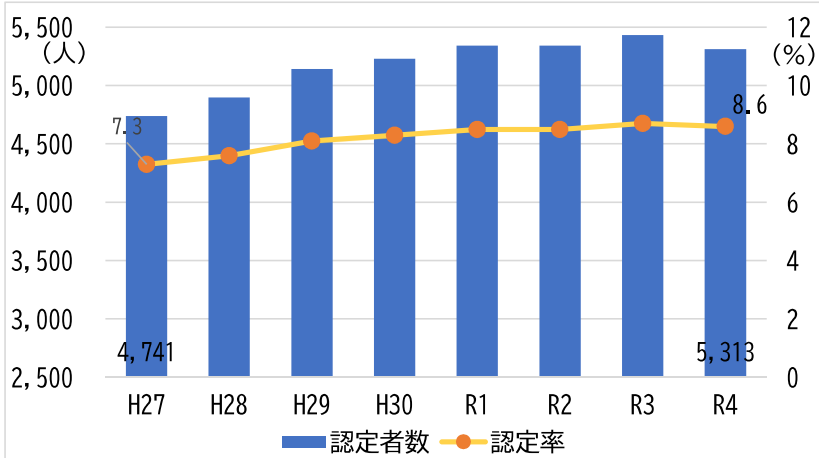
放課後児童会の利用児童・待機児童数



【教育総務課】

核家族化の進展や女性就業率の上昇。「父母ともに仕事あり」が、全国より約3ポイント高い。放課後児童会のニーズは向上。定員拡大を図ったことに伴い、登録児童者数は大幅に増加。待機児童数は減少。

就学援助認定者数及び全児童生徒に占める認定率



就学援助認定者は、8年間で約570人増加。近年、認定率は8%後半で推移。※R4年度は2月15日現在の値

【教育支援課】

浜松市児童相談所が対応した虐待の種別

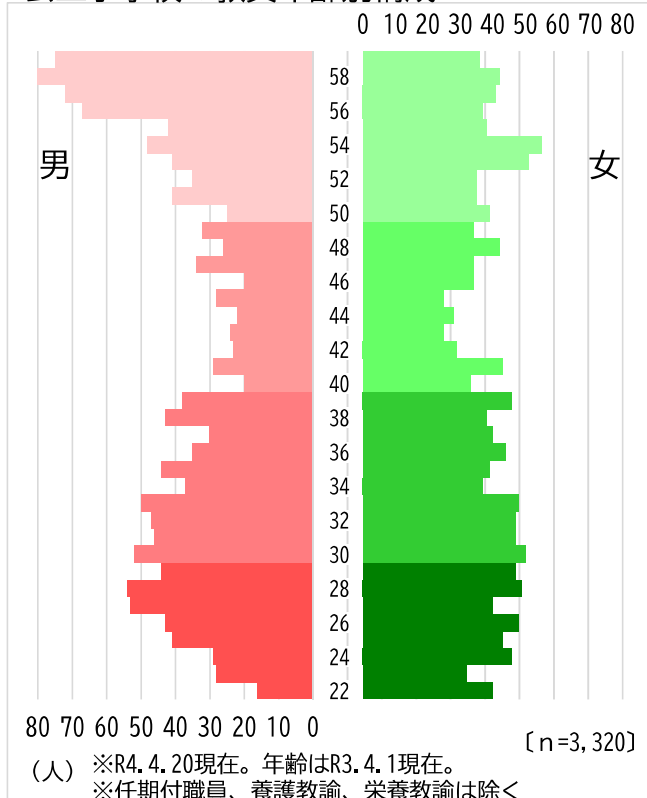
	身体的	性的	ネグレクト	心理的	合計
R4	229	29	150	464	872
R3	199	11	138	475	823
R2	245	9	130	449	833
R1	211	22	153	378	764
H30	198	23	119	235	575
H29	116	18	132	208	474

【浜松市児童相談所】

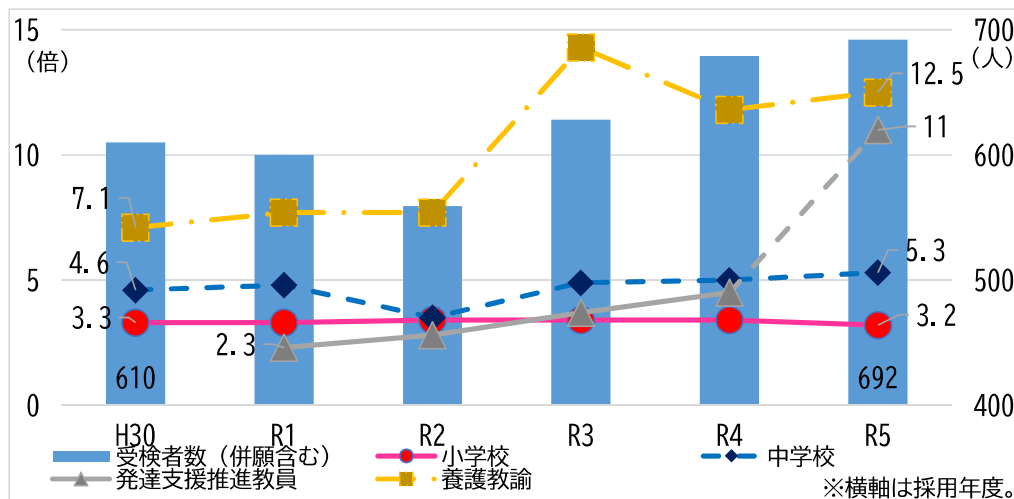
令和4年度の通告件数は、平成29年度比で184%と急増。心理的虐待件数が最も多く、増加率も、平成29年度比で223.1%。※対象は18歳未満の子供すべてであり、学齢児童生徒とは限らない。

本市の状況 教職員について

公立小学校の教員年齢別構成



教員採用合格者及び受験者数の推移



過去5年間、小学校の合格者は80人から90人程度、中学校は50人から60人程度である。合格倍率も小学校は約3.3倍、中学校は約4.6倍と一定の水準で推移している。養護教諭の合格倍率は、ここ数年、10倍を超えている。R1採用からの新規枠である発達支援推進教員も、当初より受験者数が倍増している。受験者数も令和2年度以降増加している。

懲戒処分等の状況

	免職	停職	減給	戒告	合計	訓告等
R3	0	1	0	0	1	0
R2	0	1	3	1	5	0(1)
R1	2	2	2	0	6	1(5)
H30	1	0	1	0	2	4(3)
H29	0	0	0	0	0	3

【文部科学省：公立学校教職員の人事行政状況調査】
※ () は監督責任により懲戒処分等を受けた者の数。

平成30年度以降、懲戒処分者を受けられる者がいる。免職者の内訳は交通・交通事故1人、わいせつ行為2人。令和3年度の教育職員に占める割合が、0.02%と全国平均(0.50%)を下回る。

教職員の体罰報告について

	小学校	中学校	高等学校	合計
R4	43	15	0	58
R3	21	17	0	38

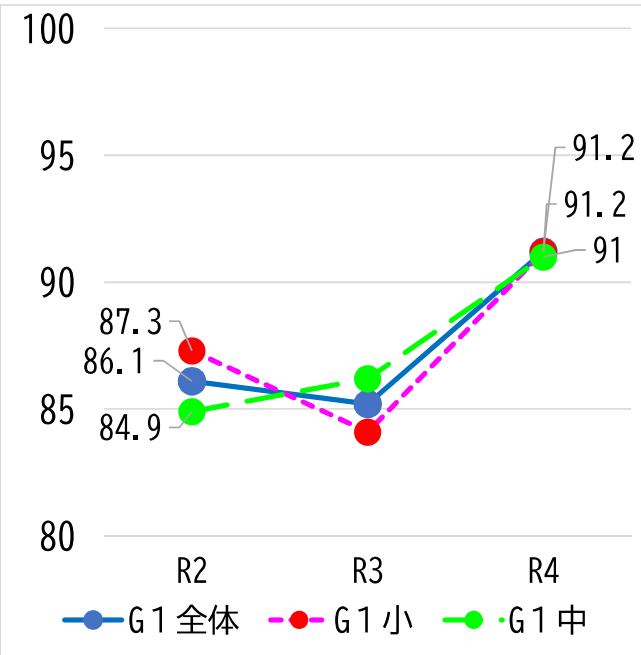
【教職員課】

小学校において、体罰報告が増加。中学校は若干の減少。

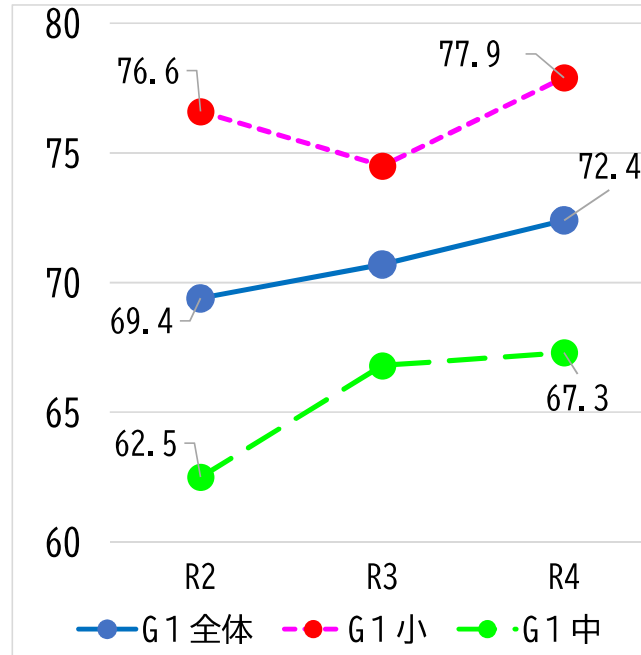
本市の状況 教職員について

再掲

先生が自分のよいところを認めてくれていると思う子供の割合



学校や子供に関することを教職員に気軽に相談できる保護者の割合



【保護者 実態把握調査】

「先生が自分のよいところを認めてくれていると思う子供の割合」、
「学校や子供に関することを教職員に気軽に相談できる保護者の割合」は昨年度から数値が上昇し、昨年度に引き続き成果指標を達成。

相談したときに、先生は真剣に話を聞いてくれますかという質問に対して肯定的な回答をした児童生徒の割合

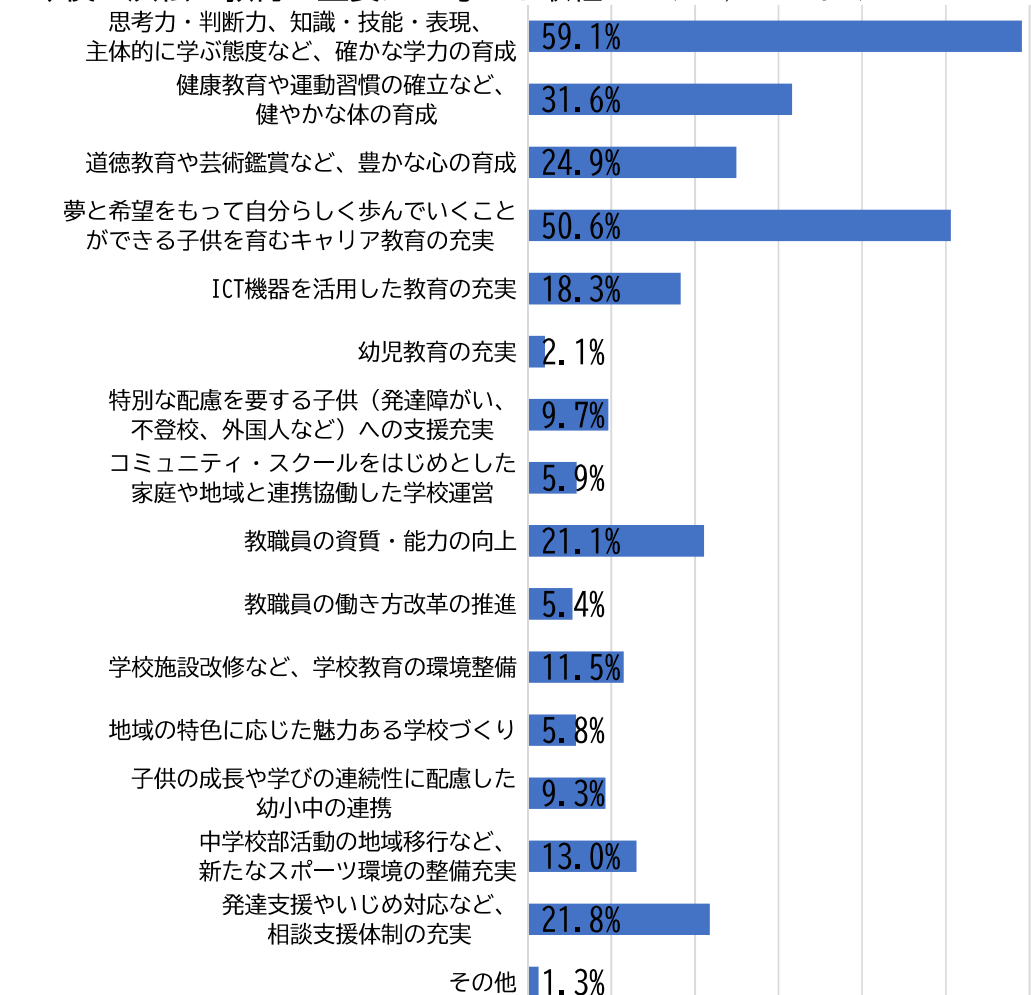
	学 年	割 合
小学校	4年生	95.8%
	6年生	95.6%
中学校	1年生	94.4%
	3年生	93.9%

【R4児童生徒 実態把握調査】

小学校は約96%、中学校は約94%と、どの階層の調査対象においても、高い値を示した。

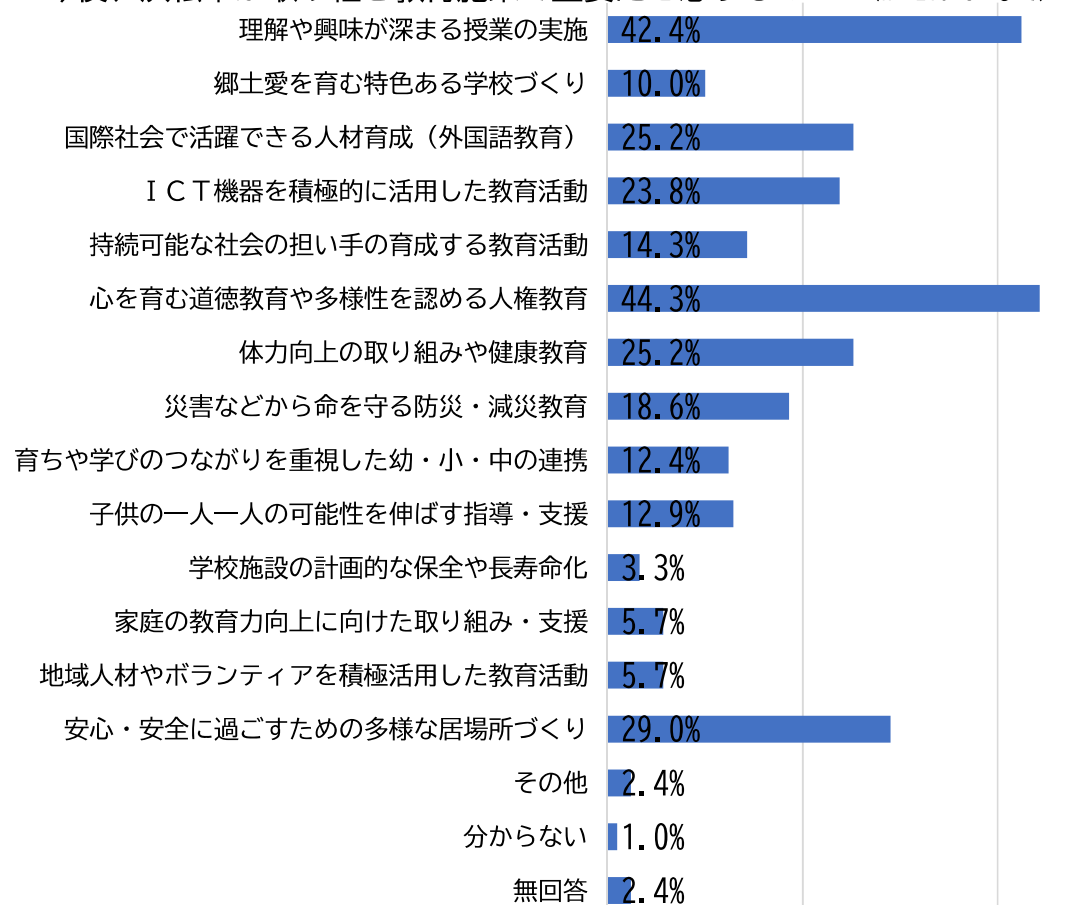
保護者・市民の意識

今後の浜松の教育に重要だと考える取組 (n=7,856 3つまで)



「確かな学力の育成」が約6割と最多。
 「夢と希望をもって自分らしく歩んでいくことができる子供を育むキャリア教育の充実」が約5割。
 【保護者 実態把握調査】

今後、浜松市が取り組む教育施策で重要だと思うもの (n=210 3つまで)

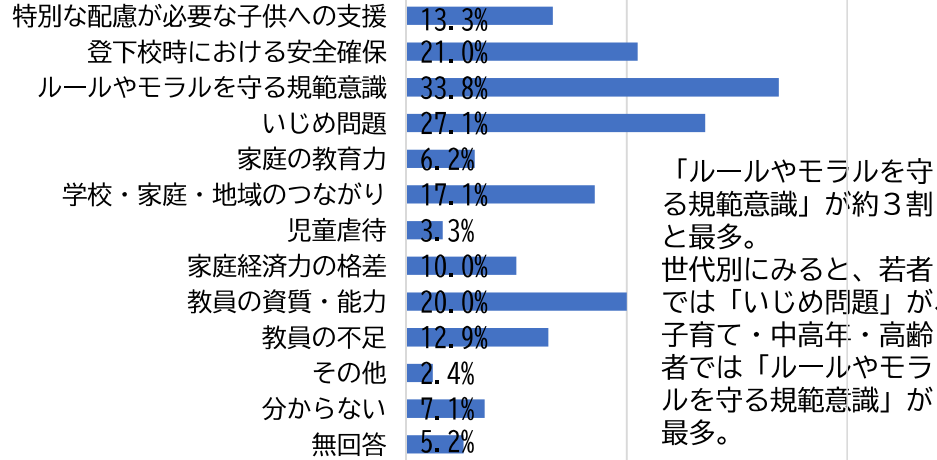


【令和4年度 第5回 浜松市広聴モニターアンケート調査】

「心を育む道徳教育や多様性を認める人権教育」が約4割と最多。
 世代別にみると、若者・高齢者では「心を育む道徳教育や多様性を認める人権教育」が、子育て・中高年では「理解や興味が深まる授業の実施」が最多（若者では「理解や興味が深まる授業の実施」も同率）。

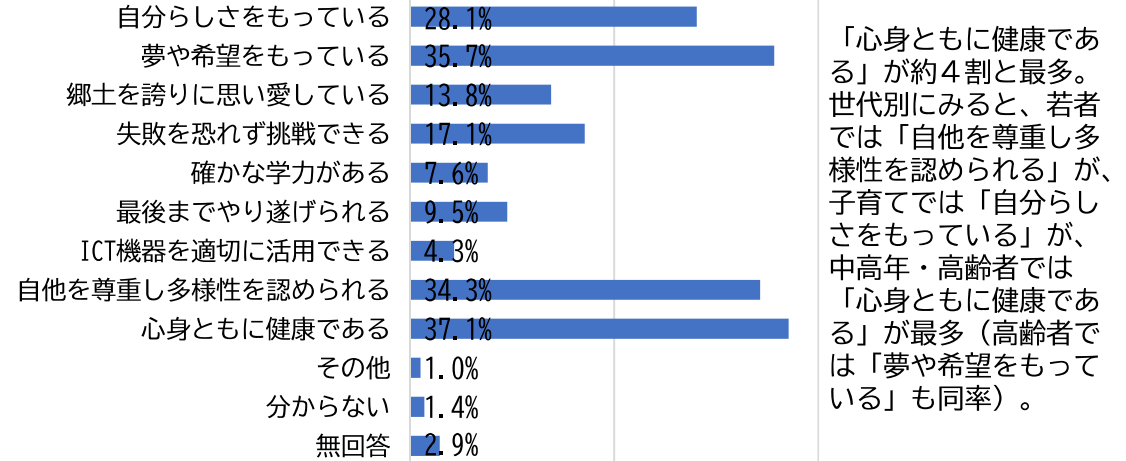
保護者・市民の意識

浜松の子供にとって課題だと思う点 (n=210 2つまで)



【令和4年度 第5回 浜松市広聴モニターアンケート調査】

浜松の子供たちにどのような子供に育ってほしいと思うか (n=210 2つまで)

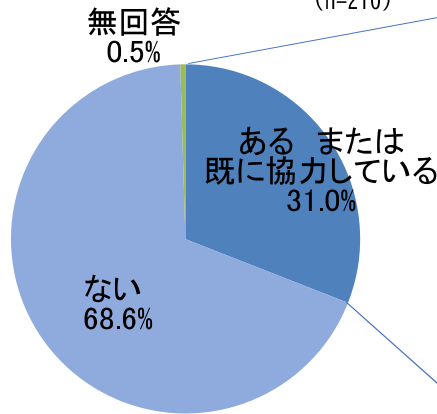


【令和4年度 第5回 浜松市広聴モニターアンケート調査】

地域の学校に協力してみたいか

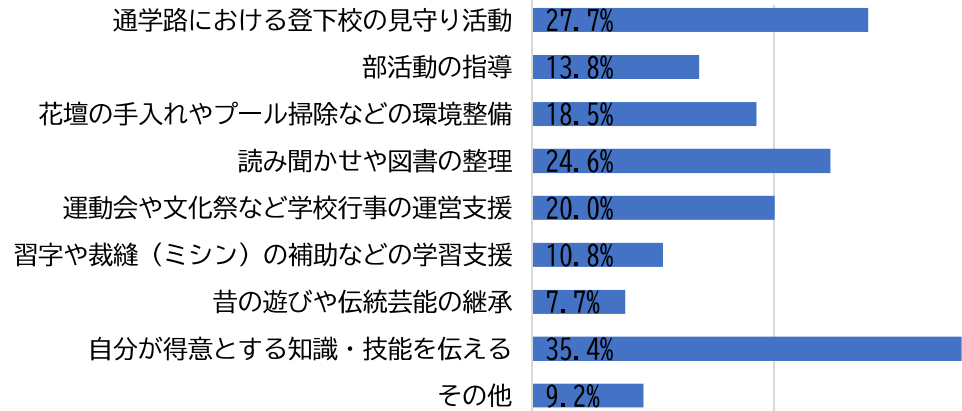
(n=210)

「ある または既に協力している」が約3割。
世代別にみると、若者・中高年・高齢者の約3割、子育ての約4割が「ある または既に協力している」と回答。



具体

(n=65 複数回答)



「自分が得意とする知識・技能を伝える」が約4割と最多。
世代別にみると、若者・子育て・高齢者では「自分が得意とする知識・技能を伝える」が、中高年では「通学路における登下校の見守り活動」、「花壇の手入れやプール掃除などの環境整備」と「読み聞かせや図書の整理」が最多。

【令和4年度 第5回 浜松市広聴モニターアンケート調査】